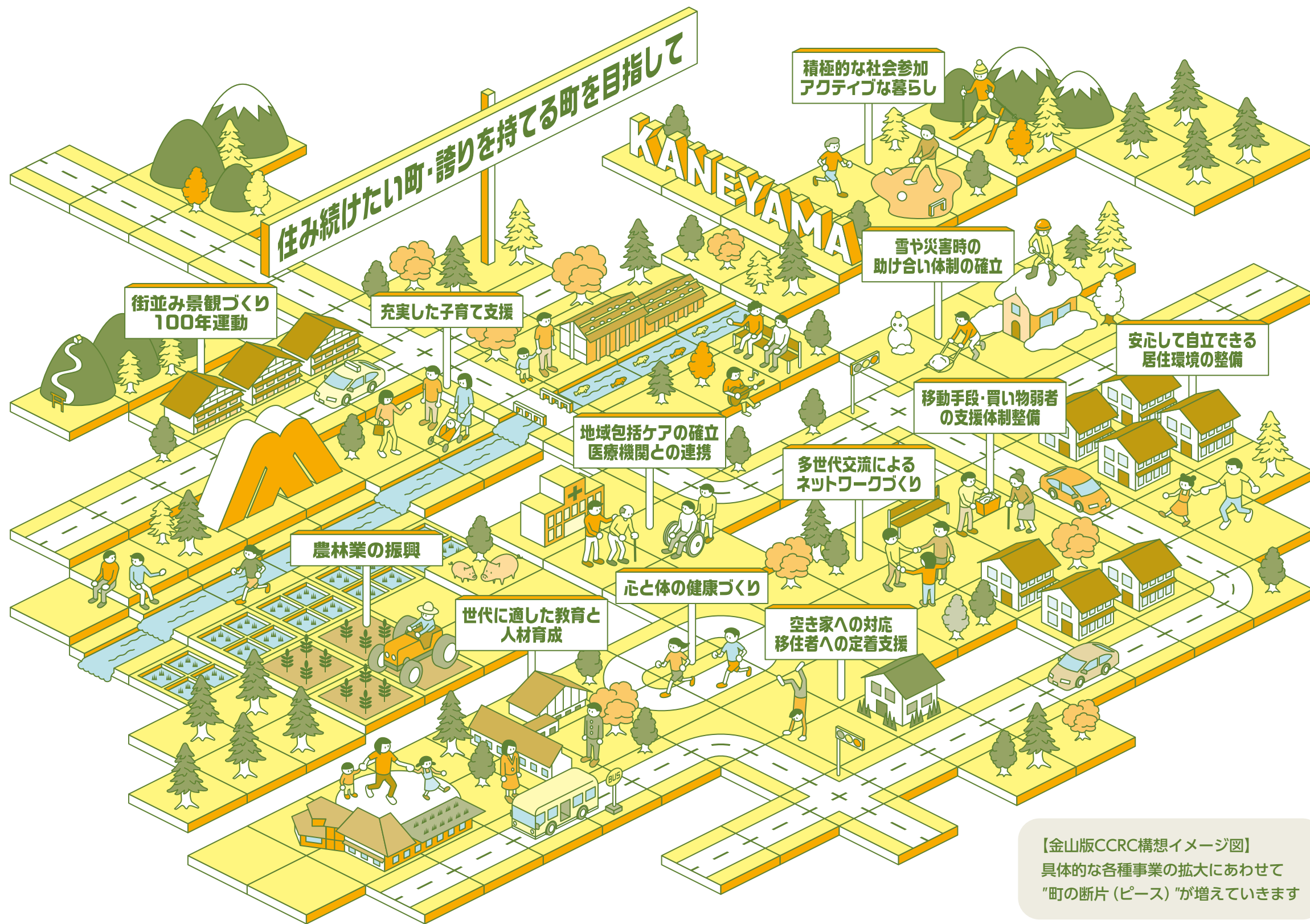




【金山版CCRC構想イメージ図】
具体的な各種事業の拡大にあわせて
“町の断片（ピース）”が増えていきます

金山版 CCRC構想

ってナンダ？

生涯活躍 できるまち

を目指す指針です！

CCRC構想とは？

初めて聞いたという方も多いであろうCCRC。これは主にアメリカで発達した「高齢者居住コミュニティ」の考え方です。日本版CCRC構想では「地方への人の流れ」を意識的にプラス。都市圏の高齢者が希望に応じて地方に移り住み、アクティブな生活を送りながら、継続的な医療ケアを受けることができる地域を目指しています。

金山版は町の実情に合わせ、構想をさらにアレンジ。町では20代から40代の若年層を含め、全世代を対象とした定住施策の展開を考えています。国の構想を基本としながらも、移住される方々を含め、現にお住まいの皆さんが健康長寿で将来に不安なく生活できることが、町が目指すべき最大のビジョンです。そのビジョンを実現するための指針が、金山版CCRC構想なのです。

目指すは生涯活躍のまち

金山町も例外ではなく少子化・高齢化が進行。表1のとおり、今後20年のうちに総人口は40

00人を切り、高齢化率は40%を超え、高齢者世帯も増えると予測されています。これが現実になれば、サポート側の担い手不足などの多くの問題が発生し、各種サービスや支援が継続困難になる可能性があります。

金山版CCRC構想のもと、雪対策や移動手段、買い物弱者の問題を克服できる将来の高齢化社会に適応した体制を構築し、移住者を含めた全世代が希望を持って生涯活躍でき、豊かな心で安心して暮らせる町づくりを急がなければいけません。

金山町の人口構成の推移（表1）

年（西暦）	2018	2020	2030	2040
総人口	5,569	5,293	4,373	3,549
0～14歳	601	596	470	369
15～39歳	1,195	1,090	845	680
40～64歳	1,817	1,699	1,218	1,001
65歳以上	1,956	1,908	1,840	1,499
（うち75歳以上）	1,071	996	1,078	1,051
高齢化率	35.1	36.0	42.1	42.2

▶ 人口…2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計値

2021年度からの町の総合計画の策定

今後10年間は、これまで以上に多様化する地域課題に直面します。皆さんが希望ある将来ビジョンを描けるように、まちづくりや財政運営の進め方を示すマネジメント・ツールとなる指針を策定していきます。

どのような計画にするの？

- ① 町民との協働で策定する総合計画
 - ・町民アンケートの実施（特に20～40代のニーズ把握に注力）
- ② わかりやすい総合計画
 - ・誰が見ても分かりやすい計画とするため「何のために、何をを目指すか」を明確に
- ③ 各種計画と連携した実効性のある総合計画
 - ・分野ごとに専門的な計画を組み入れ、職員の意識を高めることで事業の実効性を向上

町民の関わり方と策定体制は？

- ① 町民アンケートによるニーズ調査
- ② 策定委員会（かねやま未来会議の専門部会等）
 - ・各団体や議員の代表、公募委員により構成
- ③ 検討委員会（町管理職による検討委員会）
 - ・策定委員会にはかる内容を精査
- ④ 作業部会（町担当課、かねやま未来会議庁内検討委員会）
 - ・金山版CCRC構想に関わる部分など重点的に検討が必要な分野は専門の部会を設置
- ⑤ 事務局
 - ・総合政策課が策定作業全般を進行管理

町民の関わり方と策定体制は？

年度	策定作業内容
令和元年度	町民アンケート調査の実施、概要案の公表、町民ニーズの分析・公表、計画案の作成
令和2年度	議会への提案（9月議会予定）、最終版策定（2月）

「小さな拠点づくり事業」参加者に聞きました



星川典子さん（七日町）
自分が元氣になりたいから来ています。みんなの元氣な顔を見ると嬉しい。ちょっとした運動で心も体もリフレッシュします！



斎藤昭さん（内町）
お母さん方から元氣をもらっています。男性の参加は少ないですが、関心のある人はいるのでは。誘っていきたいと思います。

ほかにも「みんな顔見知りになり、来ない時はかえって心配になる」と仲間の安否を気遣ってくださる方や「体重管理をし、いつまでも元氣に歩きたい」と、いろんな運動に積極的に参加されている方もいます。また、「家ではひとりなので、みんなと会えるのが楽しみ。自分のために参加している」と仲間同士のランチを楽しむ場面もみられます。
また各地区でも、お花見・小旅行・お茶会など、地域の方の協力で"集いの場"が作られています。

小さな拠点づくりからも
コミュニティが生まれます！



コミュニティ

冬期間の雪対策や災害時の適切で素早い対応にも結び付く地域住民のつながりを意識し、抱える課題を全世代でカバーし合う事業連携と体制整備を行います。

具体的な事業

- 移動手段、買い物弱者対策の体制整備や地域の見守りの実施
- 地域運営組織の形成と充実
- 災害時の迅速な情報伝達と助け合い体制の確立
- 冬期間の助け合いの仕組みづくり

キーワードは つながり 安心 希望

元氣な高齢者からまちづくりを



笑顔で「小さな拠点づくり」に取り組んでいます

構想のキーワード

金山版CCRC構想では、「住まい・ケア・活躍・移住・コミュニティ」の5分野を計画の柱とし、町に暮らす誰もが、生涯活躍できるまちづくりに取り組んでいきます。取り組みのキーワードは「つながり」「安心」「希望」。これは、人や地域の交わりと各種サービスの連携によるつながりに加えて、将来に続く安心と希望こそが、金山町で暮らしたい、住み続けたいという気持ちに結び付くと考えからです。ここでは、特に重要と考える「高齢者の活躍」にスポットをあてて紹介します。

小さな拠点からつくる

高齢者の活躍と元氣な町

これからは、高齢化により単身や夫婦のみ世帯が増加していく一方、支援する側の若い世代が減少傾向にあるといった課題を抱えています。そこで、高齢者の健康と暮らしを支えるため、地域の絆や生活支援の拠点をつくるというのが「金山町小さな拠点づくり事業」。

これからの拠点づくり

今後は生活支援や生きがいづくりについて学んだ方々が、仲間と一緒に自分のできる支援を必要な方に提供する仕組みを構築していきます。生活支援の「拠点」として、高齢者だけでなく子育て世代にも「ちょっとした手助け」ができ、若い世代も生活しやすく定着しやすいまちづくりを目指します。

移住

いま住んでい町民の皆さんが、これからも住み続けたいと感じる子育て・雇用・教育支援等の充実を図ります。また、移住希望者がワンストップで多様な相談ができる体制を整え、定着に力を入れた総合的な支援を行います。

具体的な事業

- 移住相談の総合窓口の設置
- 充実した子育て支援と教育環境の整備
- 民間業者へのアパート住宅整備支援
- 企業や農業施策と連携した移住者の雇用支援

ケア

誰もが住み慣れた地域で、介護する側もされる側も自分らしい暮らしを送ることができるよう、医療・介護・予防の個々に応じたケアを医療機関や介護施設に加え地域全体で複合的な支援体制を整えます。

具体的な事業

- 金山らしい地域包括ケアの整備
- 高齢者等の在宅福祉や介護予防の強化
- 金山診療所や他医療機関多職種との連携による広域的な医療体制の確立

住まい

今後も増加することが考えられる空き家の適正な除去に加え、リノベーションに対する支援も行いながら、若者世代や高齢者、そして移住者がそれぞれに適した住まいで自立した生活ができる居住環境の整備を進めます。

具体的な事業

- 街なか公営住宅の整備
- 空き家対策総合窓口の設置
- 生活支援ハウスの拡充
- SNS等の活用も含めた全世代への有効な情報伝達の整備
- ニーズに応じた公共交通体系の整備